

「精神科若年層病棟（AYA 世代病棟）における多職種の役割」の対象になられる方及び保護者の方へ（臨床研究に関する情報）

三重県立こころの医療センターでは、以下の臨床研究を実施しております。

この研究の実施にあたっては、当院研究倫理委員会の承認ならびに、病院長より許可を受け、倫理指針及び法令を遵守して実施します。

この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の相談窓口へお願いします。

【研究課題名】 精神科若年層病棟（AYA 世代病棟）における多職種の役割

【研究機関名・長の氏名】 三重県立こころの医療センター 院長 森川将行

【研究責任者所属・氏名】 三重県立こころの医療センター 看護部 松本和美

【研究目的】

近年、若者の自殺・ひきこもりなど社会問題となっており、精神科病院における若年層への期待が高まっている。そこで、三重県立こころの医療センターAYA 世代病棟の臨床において、病棟運営での効果を認めているため報告し、今後の精神科医療へ活かすことである。

【研究方法】

1. 対象

2024年2月1日から2025年3月31日の期間に東1病棟へ入院した患者情報に関して、記述統計及び症例報告を行う。

2. 利用、または提供する資料・情報の項目

電子カルテより

入院期間、年齢、性別、入院形態、主病名、紹介元機関の有無、就学状況
治療内容、入院時精神症状

3. 実施期間

2024年2月1日から2025年3月31日

4. 研究機関

研究を行う期間は、許可日より2026年3月31日まで

5. 研究責任者氏名

代表研究機関・研究代表者：三重県立こころの医療センター 松本和美

6. 個人情報管理について

研究対象者の方に情報を公開し、研究参加の拒否、撤回ができるようにしています。

また、個人情報漏洩を防ぐため、本研究では個人を特定できる情報を削除し、データのデジタルデータファイルの暗号化管理などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。さらに、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含みません。

7. 医学・看護学上の貢献

本研究により対象となった方が直接受けることができる利益はありませんが、研究成果は将来、精神科における若年層患者への対策に貢献できる可能性が高いと考えます。

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をおしりになりたい場合は、他の研究対象者となつた方の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する個人情報に関しては、お名前、住所など個人を特定できる情報は削除し管理いたします。また、研究成果は学会や学術誌で発表されますが、その際も研究対象者となつた方を特定できる個人情報は利用しません。

*上記研究に情報を利用することをご了解頂けない場合は、2026年3月31日までに以下にご連絡ください。

(研究に協力されない場合も不利益等の影響はありません)

【連絡先・相談窓口】

〒514-0818 三重県津市城山1-12-1

三重県立こころの医療センター 看護部 役職 師長 氏名 松本和美

TEL : 059-235-2125 (代表)